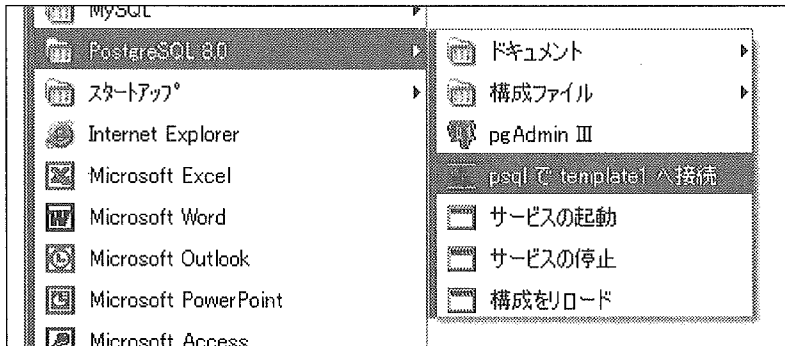


### 6. 3 CSV ファイルのロード

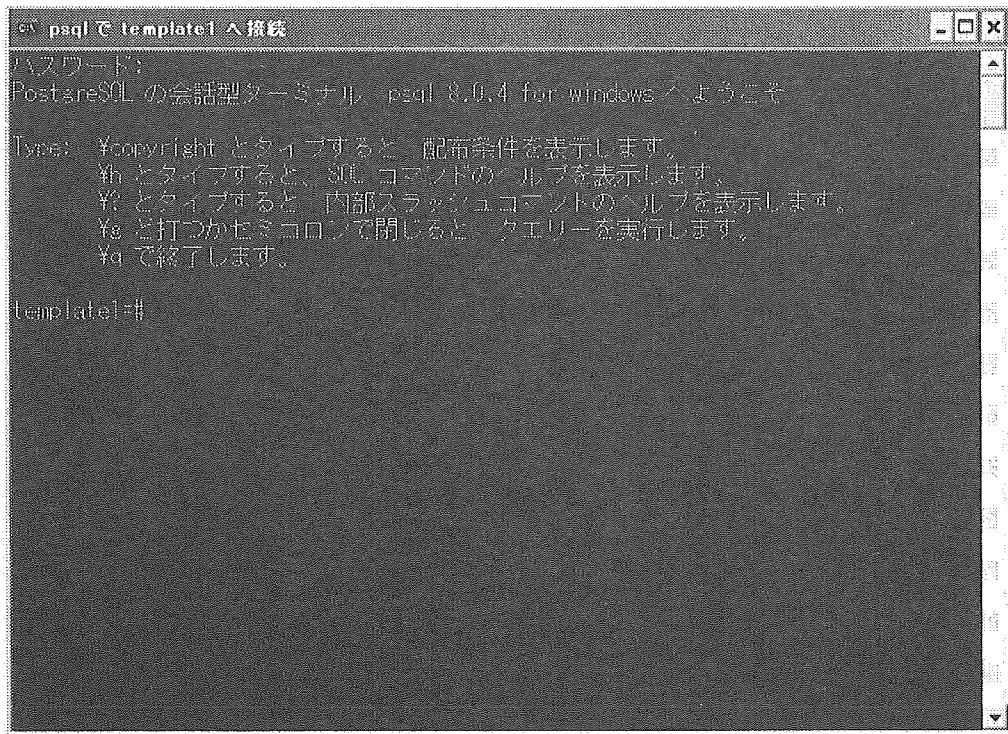
各種 CSV ファイルのテーブルへのロードは「psql」を使います。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [psql で template1 へ接続] をクリックします。



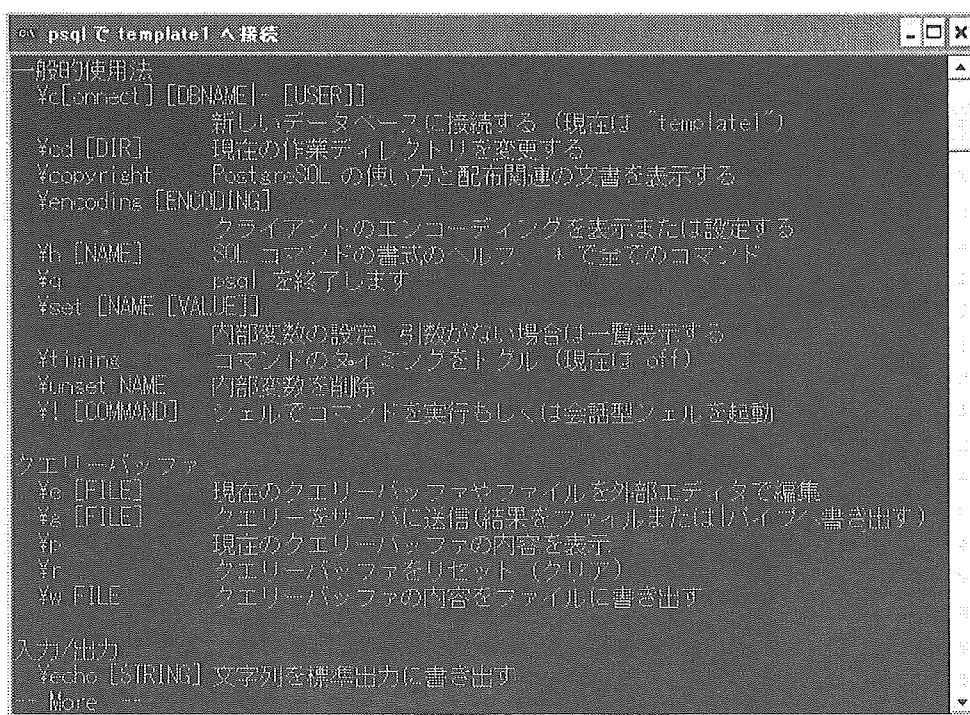
● 図 6-3-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

スーパーユーザー「postgres」のパスワードを入力しログインします。



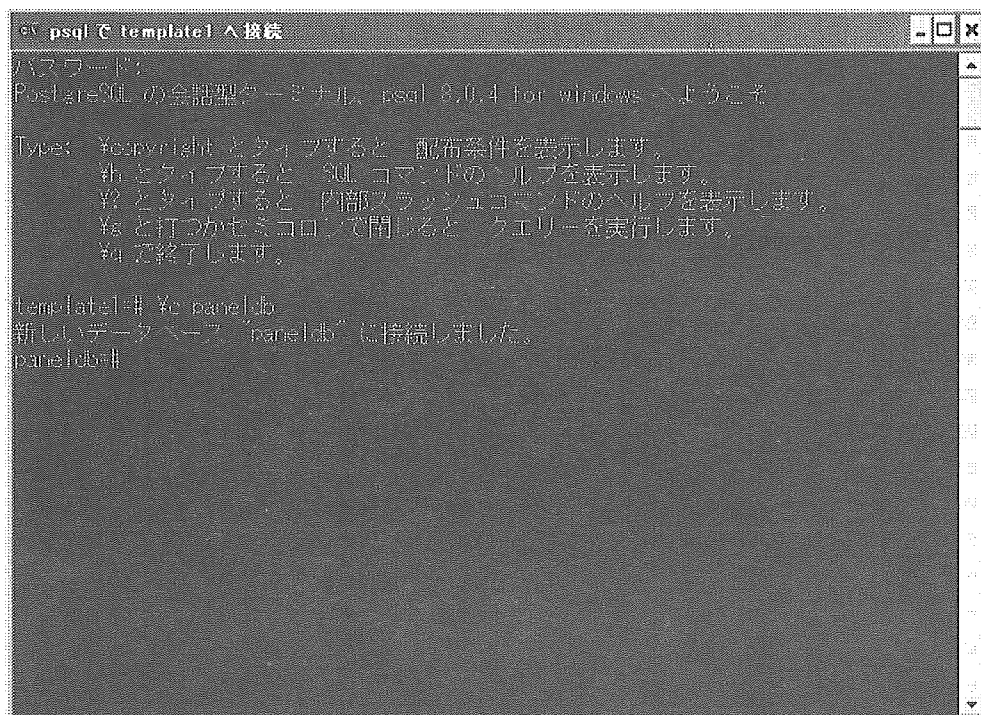
● 図 6-3-2 「psql」画面

「¥？」でヘルプ画面が表示されます。



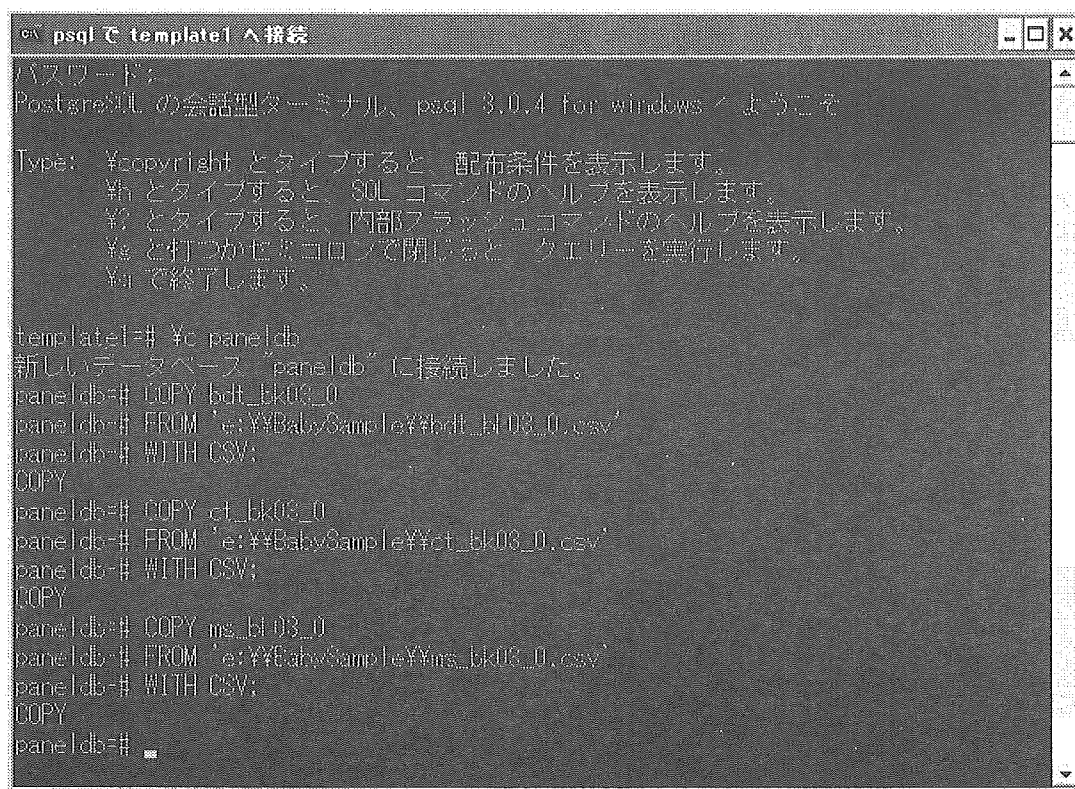
● 図6-3-2 「psql」画面 ヘルプ画面

データベース「paneldb」に接続します。「¥c paneldb」と入力します。



● 図6-3-3 「psql」画面 データベース接続

CSV ファイル取り込みコマンドを入力し実行します。



```
psql 3.0.4 template1 > 接続
パスワード:
PostgreSQL の会話型ターミナル、psql 3.0.4 for windows > ようこそ

Type:
%copyright とタイプすると、配布条件を表示します。
%? とタイプすると、SQL コマンドのヘルプを表示します。
%# とタイプすると、内部フラッシュコマンドのヘルプを表示します。
%> と打つがセミコロンで閉じると、クエリーを実行します。
%q で終了します。

template1=# \c paneldb
新しいデータベース "paneldb" に接続しました。
paneldb=# COPY bdt_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:\BabySample\%bdt_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=# COPY ct_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:\BabySample\%ct_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=# COPY ms_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:\BabySample\%ms_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=#
```

● 図 6 - 3 - 4 「psql」画面 データ取り込み実行

取り込みコマンドの書式：COPY [テーブル名]

FROM [取り込みファイル名 (絶対パス)]

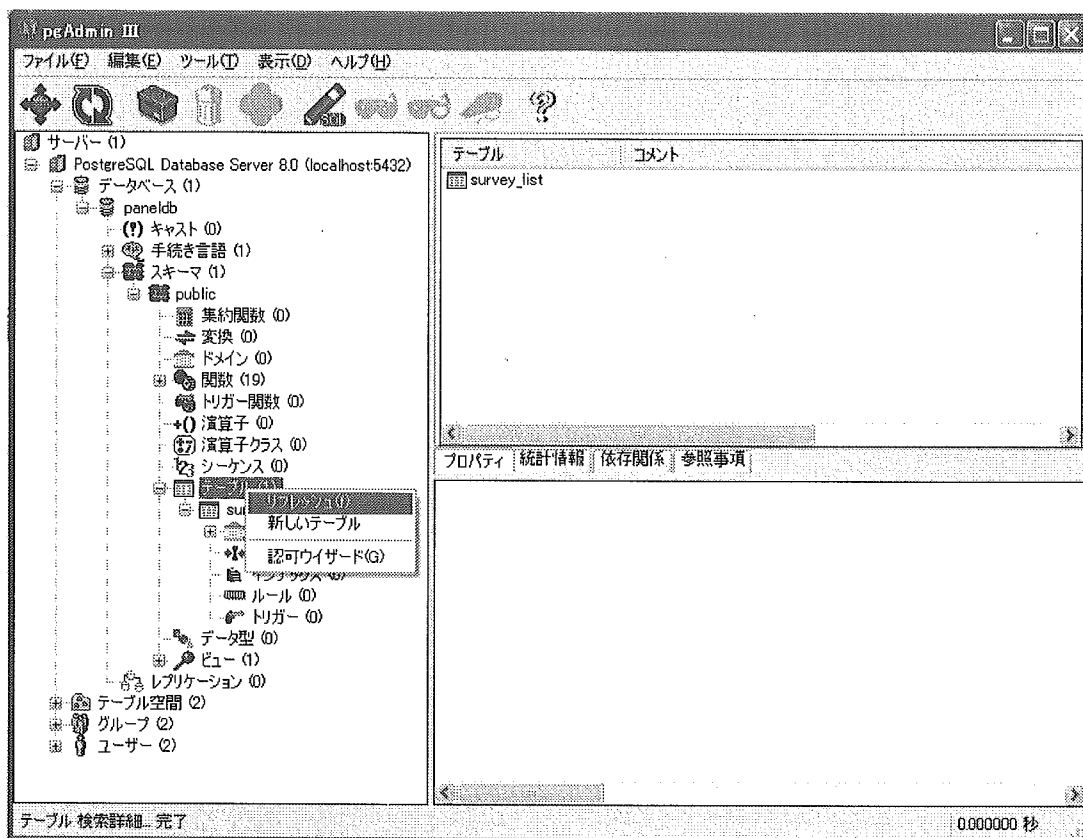
WITH CSV;

※取り込みファイル名のパスの区切り文字は“**%%**”で記述してください。

※最後に“;” (セミコロン) を記述してください。セミコロンまでは[Enter]で複数行にわたって記述しても構いません。

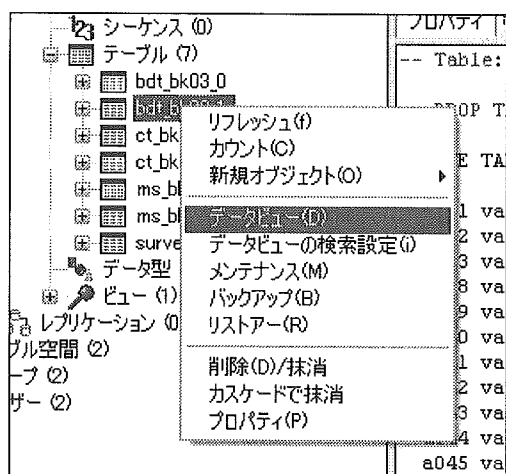
## 7. 取り込み結果の確認

「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして「リフレッシュ」を選びます。



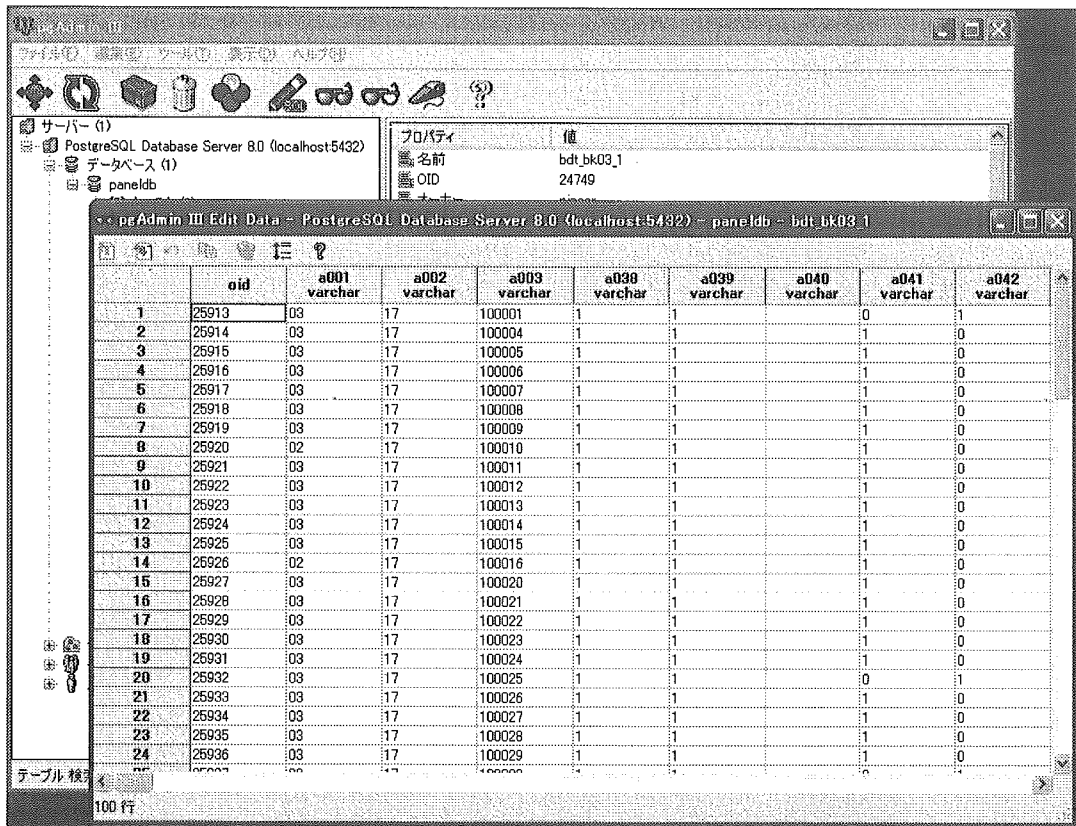
● 図7-1-1 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

確認したいテーブルを選び、右クリックして「データビュー」を選びます。



● 図7-1-2 テーブル メニュー

以下のようなデータ編集ウィンドウが表示されますので取り込まれた内容を確認します。



● 図7-1-3 「pgAdminIII」データ編集ウィンドウ

# パネル調査データベース データ作成マニュアル (夫婦編)

## 目 次

0. はじめに	1
1. データ作成のための準備	1
1. 1 ファイルの確認	1
2. テーブルの作成	1
2. 1 テーブル作成ファイルの編集	1
2. 2 PostgreSQL 管理ツール「pgAdminIII」の起動	2
2. 3 テーブル作成実行	4
2. 4 実行結果の確認	6
2. 5 調査票番号一覧作成	9
3. 夫婦調査データ作成	10
3. 1 作成処理の実行	10
3. 2 出力結果の確認	12
4. データロード	13
4. 1 CSV ファイルのロード	13
5. 取り込み結果の確認	16



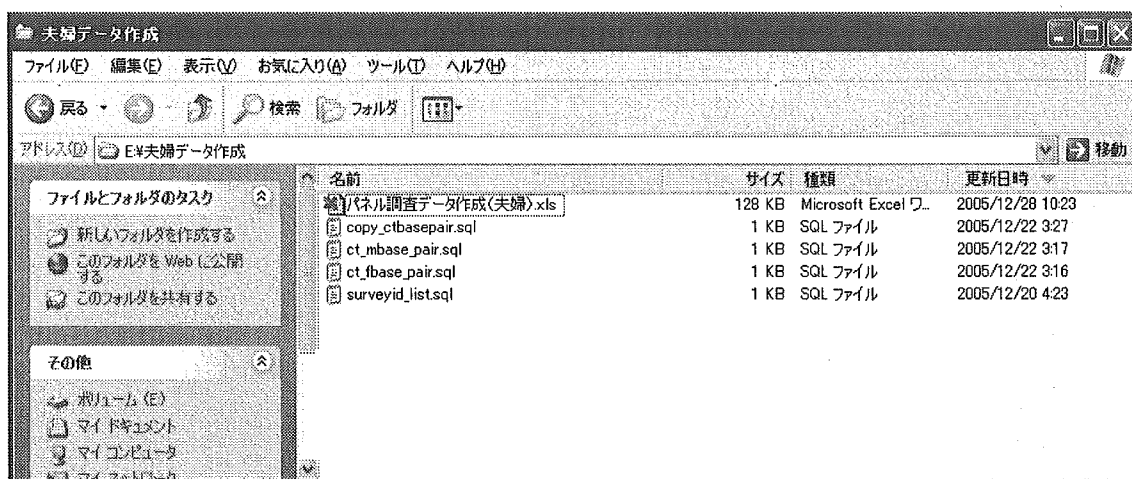
## 0. はじめに

この操作マニュアル資料はパネル調査データベースの夫婦調査データ作成手順について説明しています。

## 1. データ作成のための準備

### 1. 1 ファイルの確認

データ作成ツール・テーブル作成 SQL ファイルの各ファイルがあることを確認します。



● 図 1-1-1 実行フォルダ内のファイル

パネル調査データ作成ツールをダブルクリックします。マクロは有効にして開きます。

## 2 テーブルの作成

夫婦調査データ抽出に必要なテーブルを作成します。ただし既にテーブルを作成している場合、この作業は必要ありません。

作成するテーブルは以下の 3 種類です。

- (1) 調査票番号一覧テーブル (surveyid\_list)
- (2) 女性票ベース夫婦管理テーブル (ct\_fbase\_pair)
- (3) 男性票ベース夫婦管理テーブル (ct\_mbase\_pair)

### 2. 1 テーブル作成ファイルの編集

女性票ベース夫婦管理テーブルおよび男性票ベース夫婦管理テーブルのテーブル作成 SQL ファイルを編集します。

以下は女性票ベース夫婦管理テーブルの調査回 2 回の例です。

```
CREATE TABLE ct_fbase_pair(
```

```

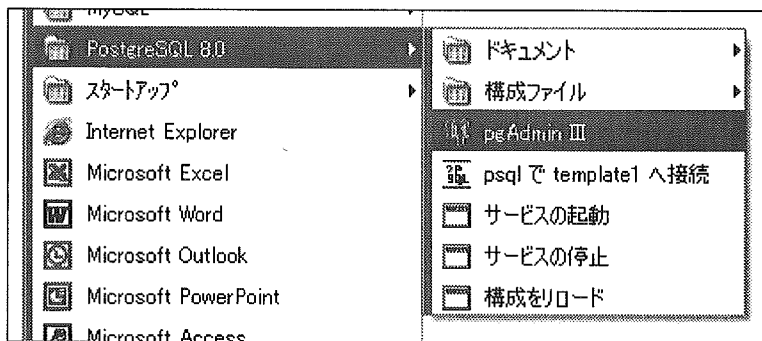
af001      varchar(1),
setai_key  varchar(10),
af006_1    varchar(1),
surveyid_1 varchar(20),
af006_2    varchar(1),
surveyid_2 varchar(20)
)

```

af006\_n および surveyid\_n を  
調査回分追加します。

## 2. 2 PostgreSQL 管理ツール「pgAdminIII」の起動

[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [pgAdminIII] をクリックします。

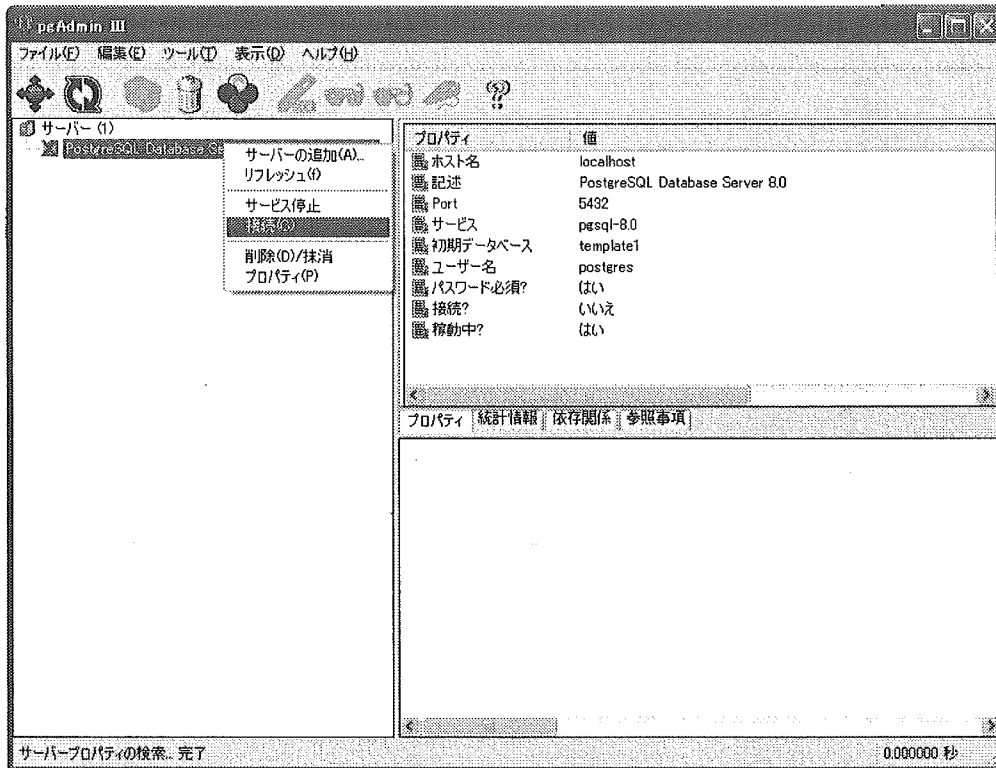


● 図 2-2-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

データベースは稼動中ですが接続していない状態ですので、スーパーユーザーである「postgres」でログインし接続します。

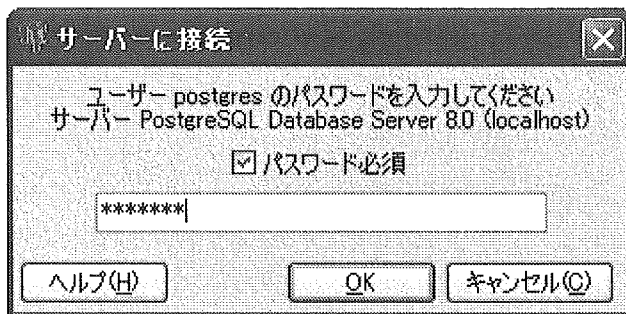
「PostgreSQL Database Server 8.0」を選び、右クリックして [接続] を選びます。





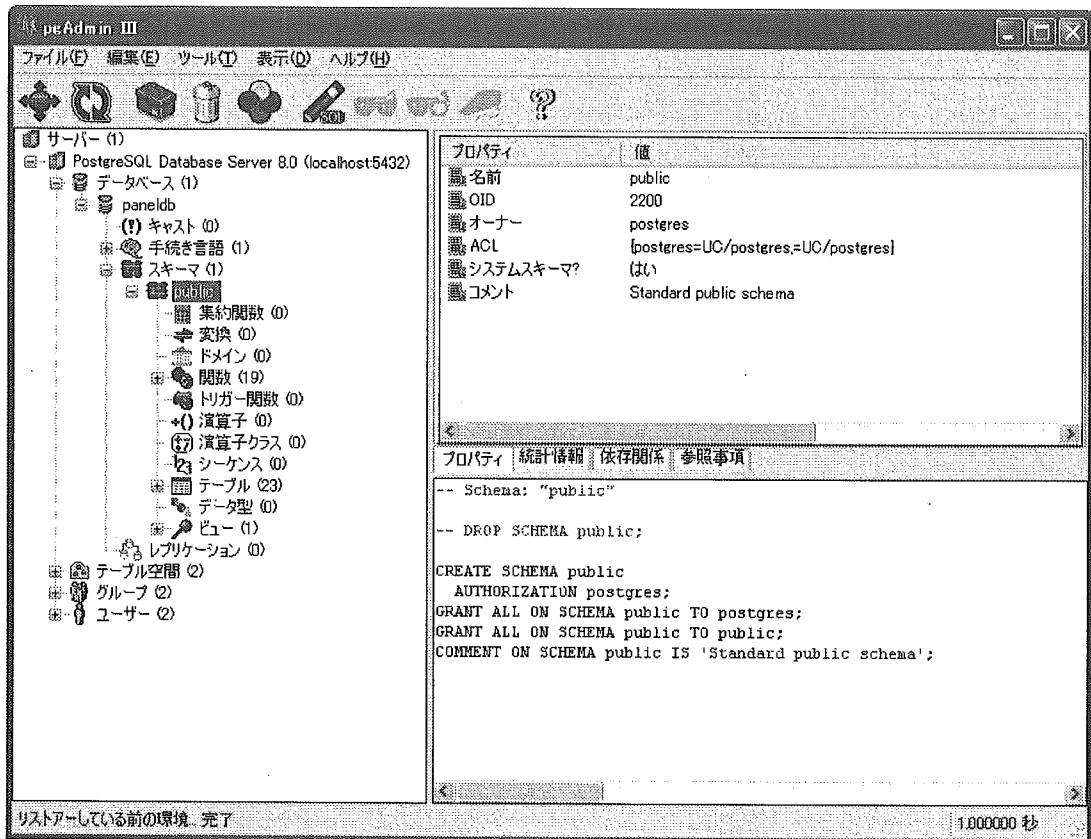
● 図 2-2-2 「pgAdminIII」メインウィンドウ（サーバーへの接続）

パスワード「postgres」を入力し [OK] ボタンをクリックします。



● 図 2-2-3 パスワード入力ウィンドウ

接続が完了すると以下のような画面になります。

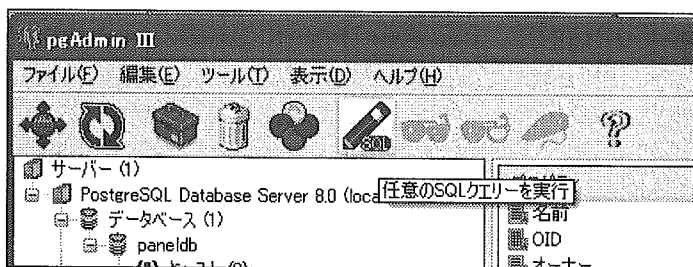


● 図 2-2-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ（サーバーへの接続後）

## 2. 3 テーブル作成実行

前述の 3 種類のテーブルを作成します。以下、調査票番号一覧テーブル (surveyid\_list) を例に説明します。

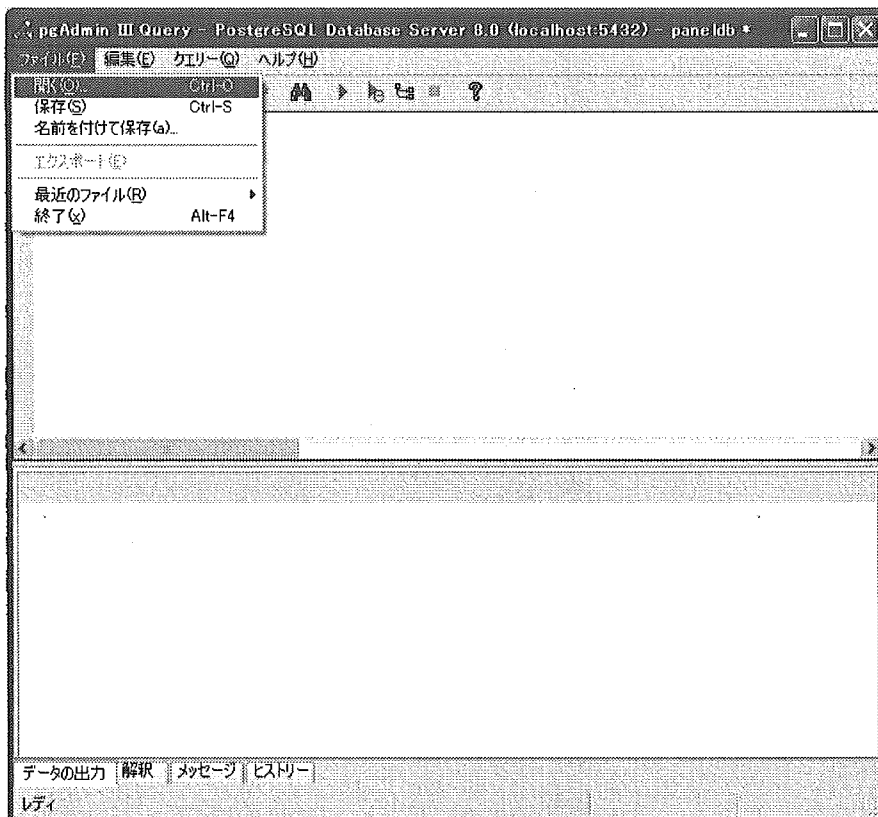
[任意の SQL クエリーを実行] アイコンをクリックします。



● 図 2-3-1 [任意の SQL クエリーを実行]

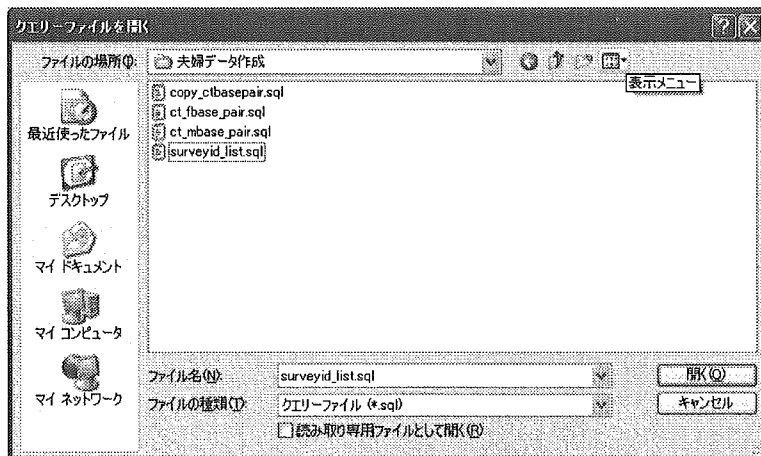
以下の [pgAdminIII Query] 画面が表示されます。

[ファイル] - [開く] メニューを選びます。



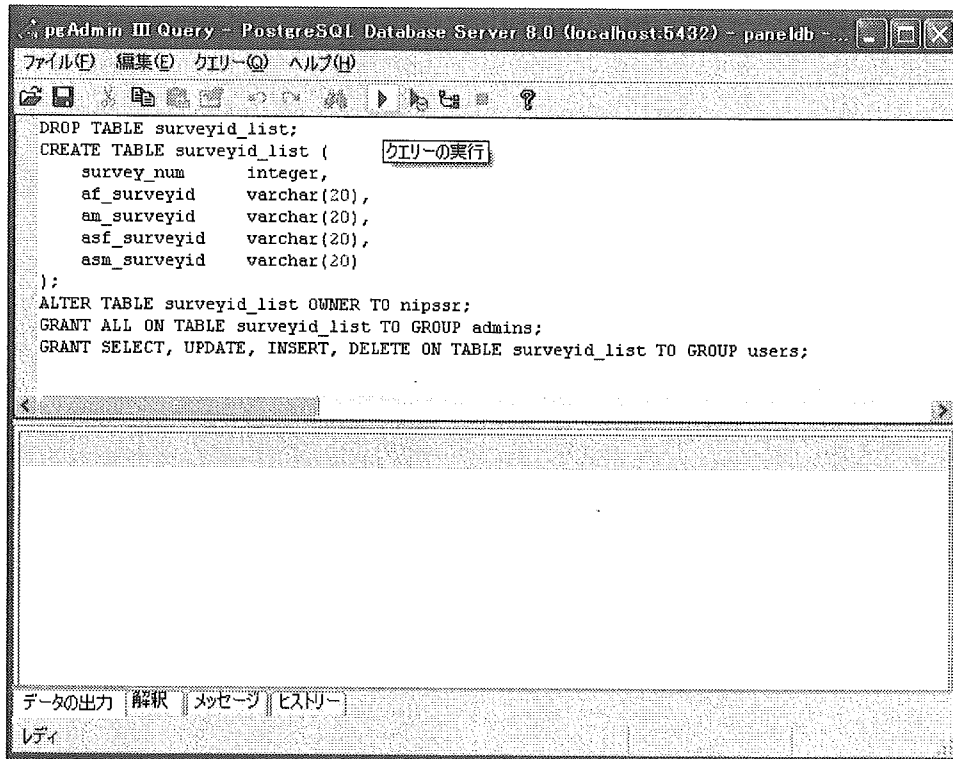
● 図 2-3-2 [pgAdminIII Query] ウィンドウ

テーブル作成 SQL ファイル「surveyid\_list.sql」を選択し開きます。



● 図 2-3-3 [クエリーファイルを開く] ウィンドウ

[クエリーの実行] ボタンをクリックし、表示された CREATE 文を実行します。

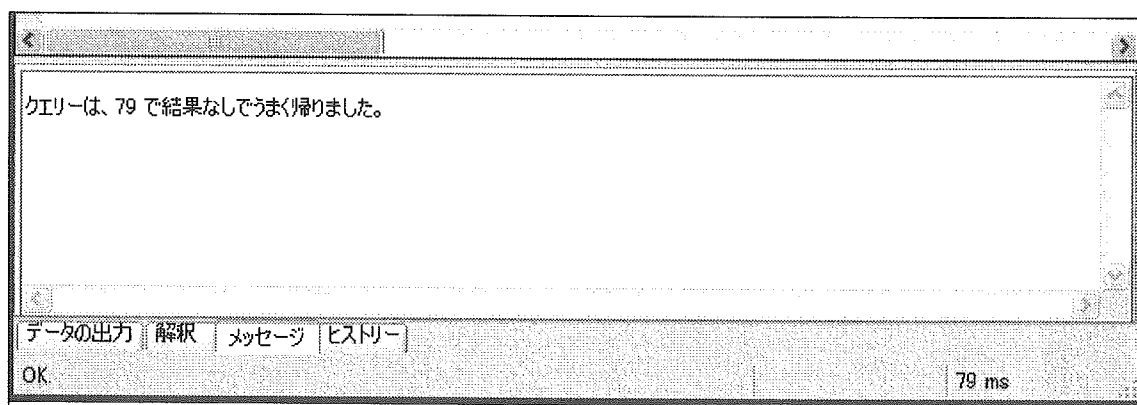


● 図 2-3-4 [pgAdminIII Query] ウィンドウ クエリーの実行

女性票ベース夫婦管理テーブルおよび男性票ベース夫婦管理テーブルについても同様に、テーブル作成 SQL ファイル (ct\_fbase\_pair.sql、ct\_mbase\_pair.sql) を選択して実行します。

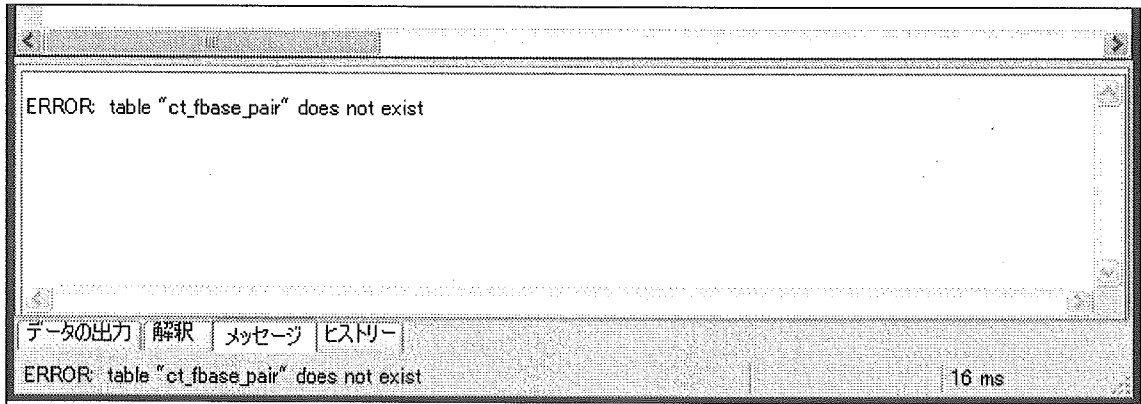
## 2. 4 実行結果の確認

テーブル作成に成功すれば以下のように表示されます。



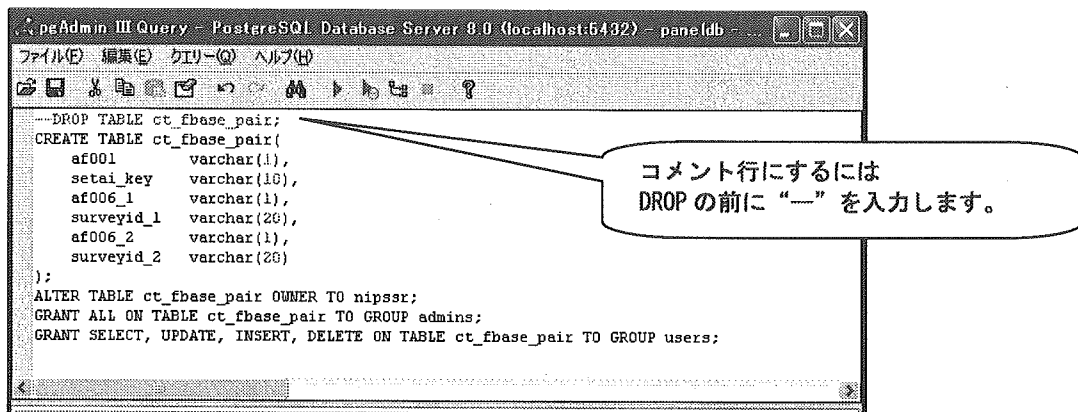
● 図 2-4-1 [pgAdminIII Query] ウィンドウ下段 (結果表示)

以下のようなエラーが表示された場合、



● 図 2-4-2 [pgAdminIII Query] ウィンドウ下段 (エラー結果表示)

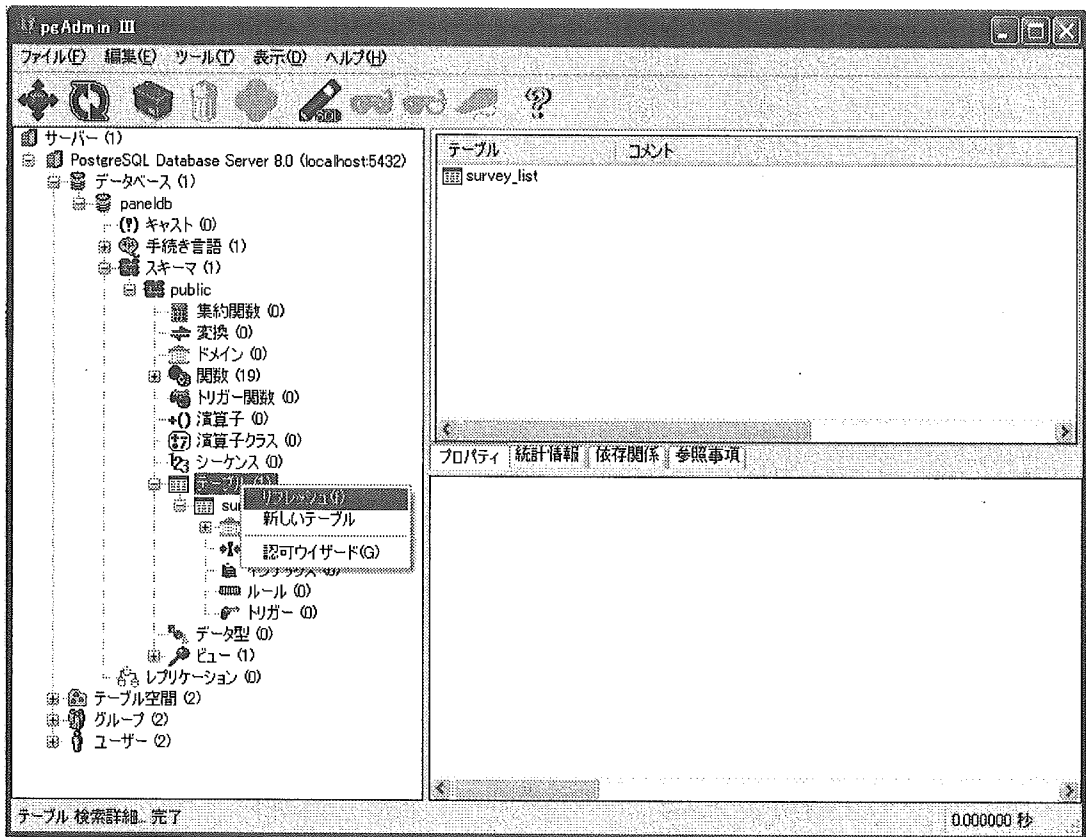
以下のように DROP TABLE 文をコメントにし再度実行します。



● 図 2-4-3 [pgAdminIII Query] ウィンドウ上段 (SQL 文修正)

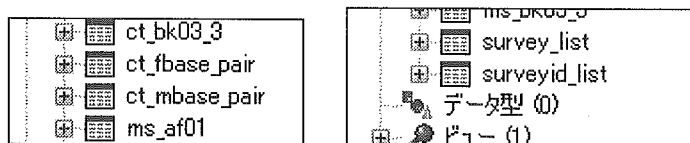
作成されたテーブルを確認します。

「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして [リフレッシュ] を選びます。



● 図 2-4-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

以下のように3種類（調査票番号一覧テーブル（surveyid\_list）・女性票ベース夫婦管理テーブル（ct\_fbase\_pair）・男性票ベース夫婦管理テーブル（ct\_mbase\_pair））が作成されているか確認します。



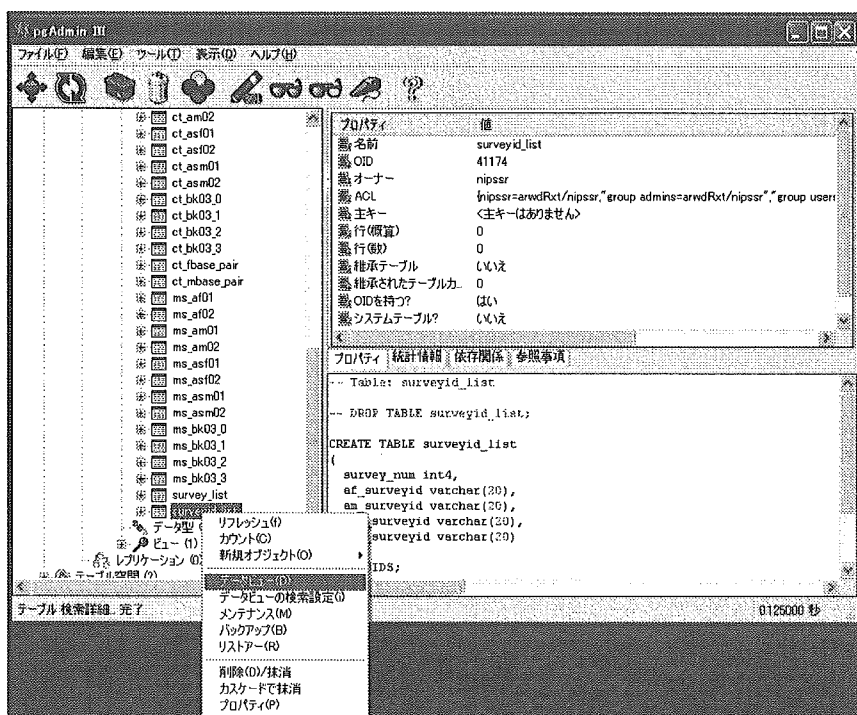
● 図 2-4-5 テーブル一覧

## 2. 5 調査票番号一覧作成

2. 3で作成した調査票番号一覧テーブル (surveyid\_list) にデータを入力します。

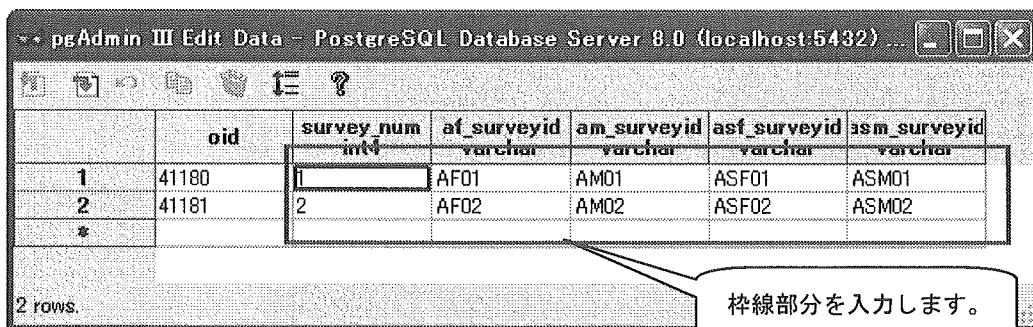
新しい調査回の調査データ (男性票・女性票・配偶者調査票・調査票情報・コードマスタ) をデータベースに登録するたびに、新しい調査回の調査票番号を追加入力します。

テーブル一覧ツリーから「surveyid\_list」を選び、右クリックして [データビュー] を選びます。



● 図 2-5-1 [pgAdminIII Query] ウィンドウ データビュー選択

新しく追加する調査回番号 (survey\_num 列)・女性票調査票番号 (af\_surveyid 列)・男性票調査票番号 (am\_surveyid 列)・配偶者女性票調査票番号 (asf\_surveyid 列)・配偶者男性票調査票番号 (asm\_surveyid 列) を入力します。



● 図 2-5-2 調査票番号一覧テーブル (surveyid\_list) データビュー画面

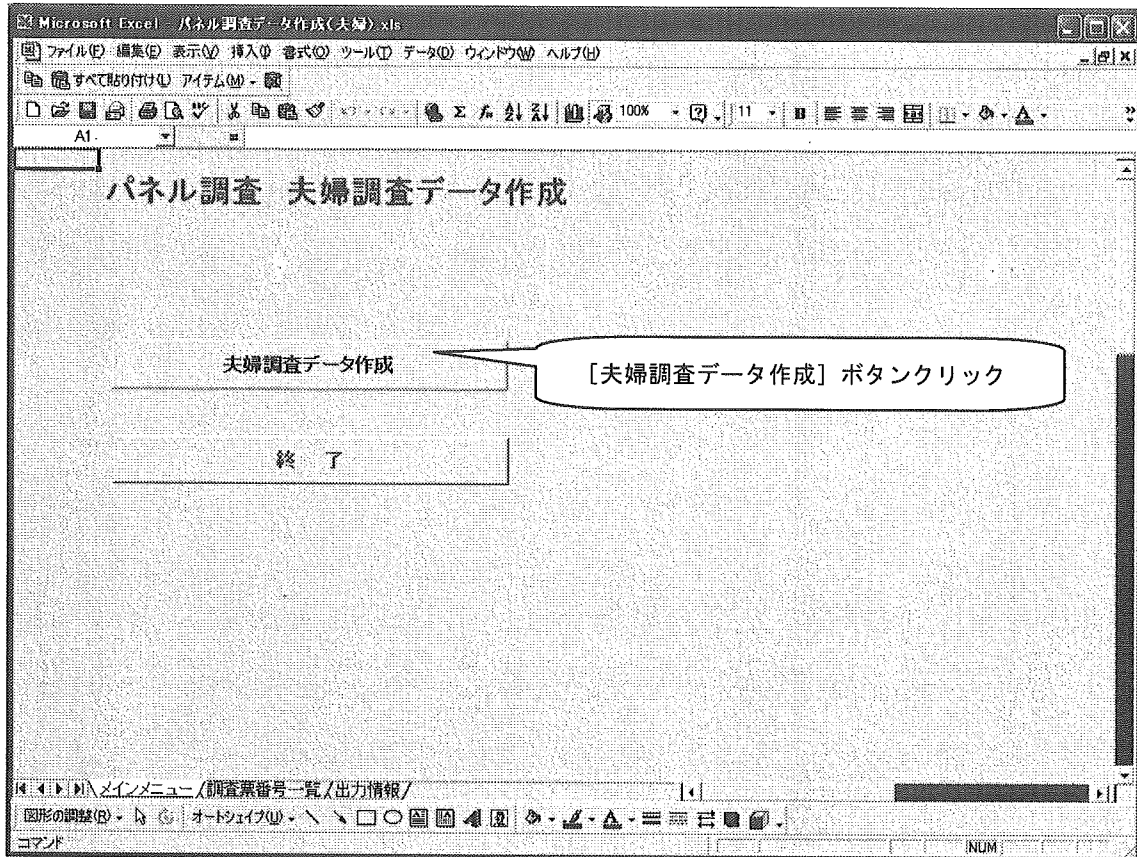


### 3. 夫婦調査データ作成

#### 3. 1 作成処理の実行

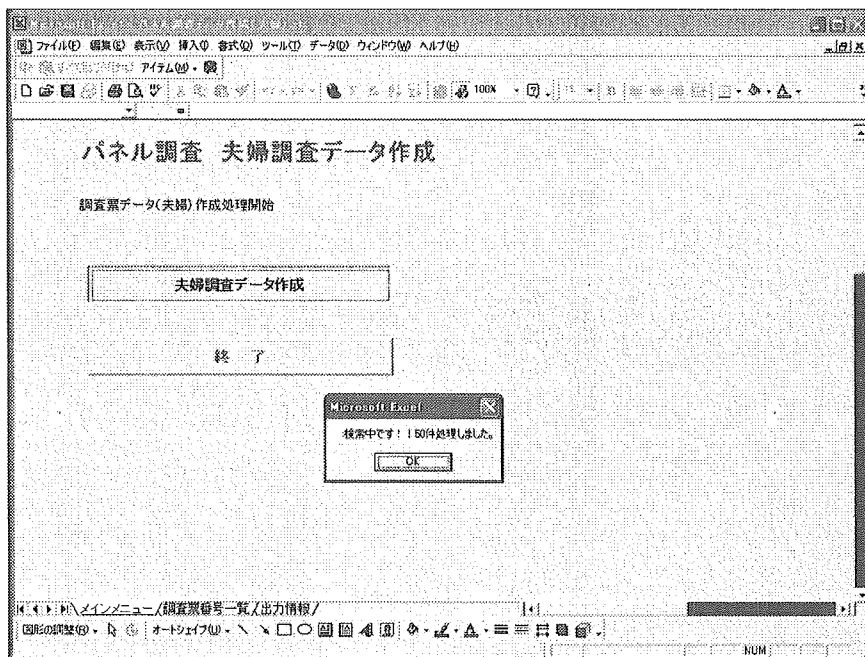
パネル調査データ作成ツールをダブルクリックします。マクロは有効にして開きます。

[メインメニュー] シートの [夫婦調査データ作成] ボタンをクリックします。



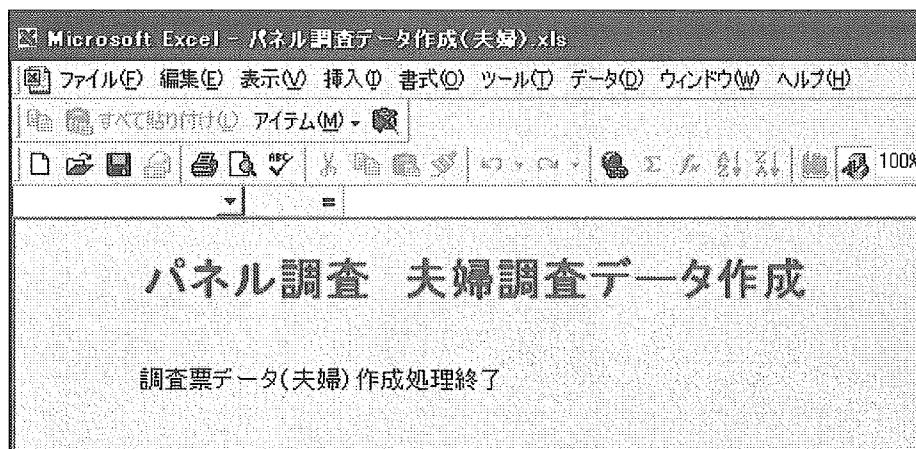
● 図 3-1-1 メインメニュー

作成経過を確認する画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックし処理を続けます。



● 図3-1-2 作成経過確認画面

処理終了したら「調査票情報作成処理終了」のメッセージが画面上に表示されます。

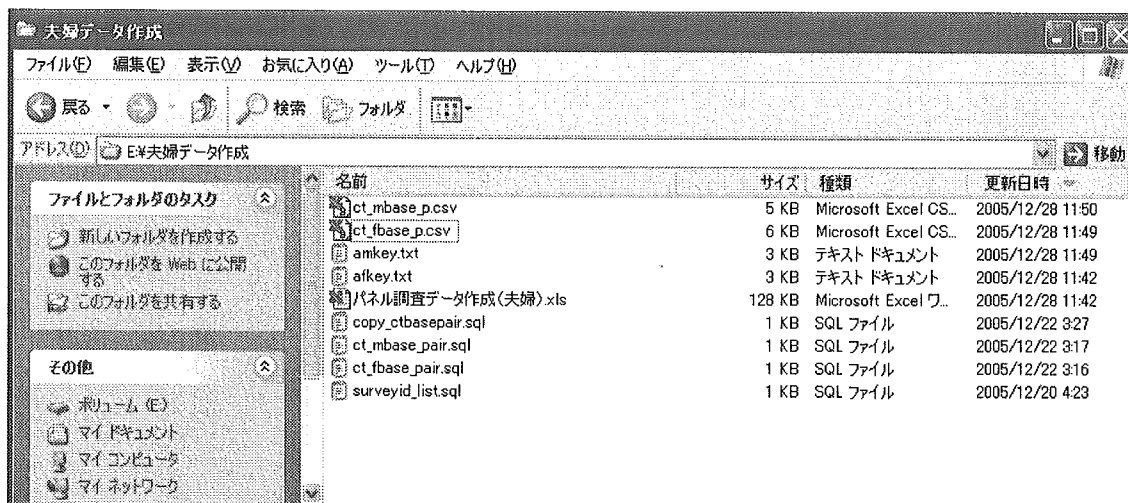


● 図3-1-3 「夫婦調査データ作成処理終了」メッセージ

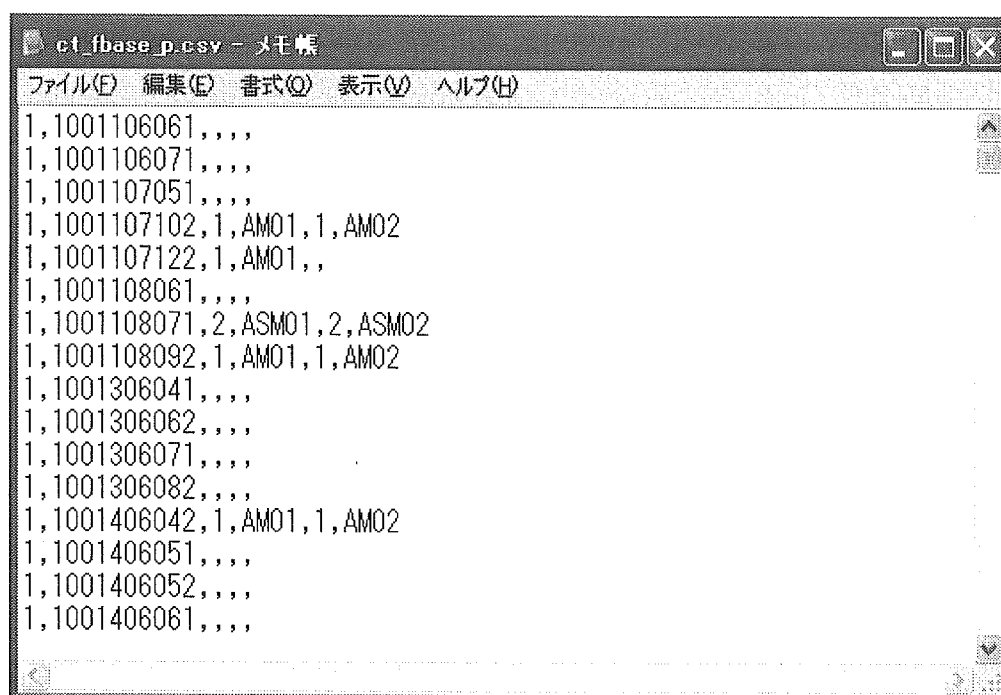
### 3. 2 出力結果の確認

ツールを実行しているフォルダ配下に調査票データの CSV ファイルが出力されます。

- ・女性票ベース夫婦管理 CSV ファイル：ct\_fbase\_p.csv
- ・男性票ベース夫婦管理 CSV ファイル：ct\_mbase\_p.csv



● 図 3-2-1 データ作成処理後の実行フォルダ内のファイル



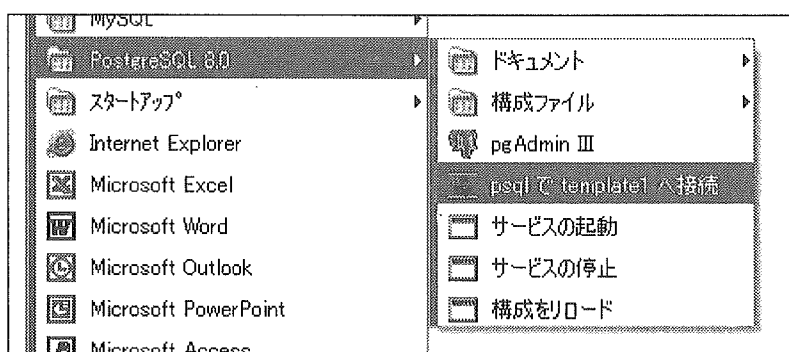
● 図 3-2-2 CSV ファイルの内容

## 4. データロード

### 4. 1 CSV ファイルのロード

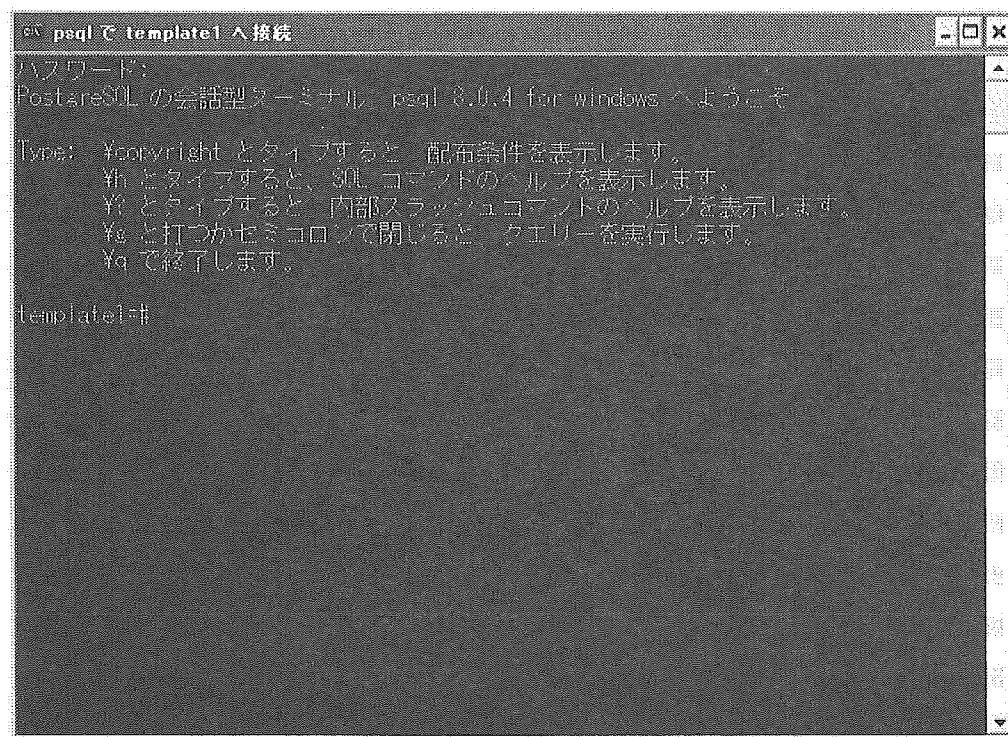
各種 CSV ファイルのテーブルへのロードは「psql」を使います。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [psql で template1 へ接続] をクリックします。



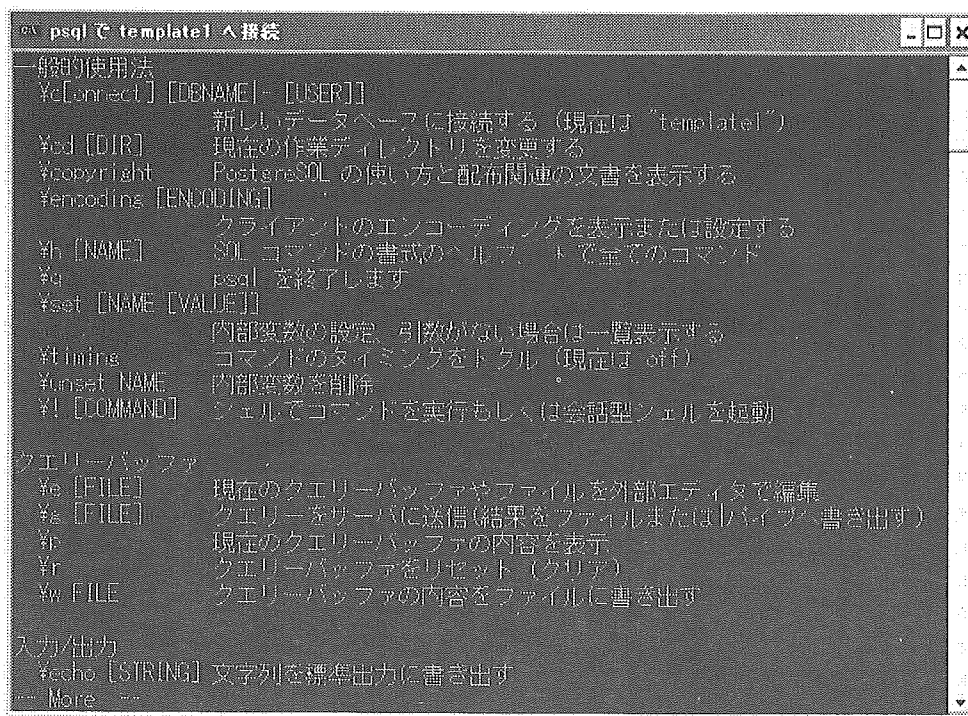
● 図 4-1-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

スーパーユーザー「postgres」のパスワードを入力しログインします。



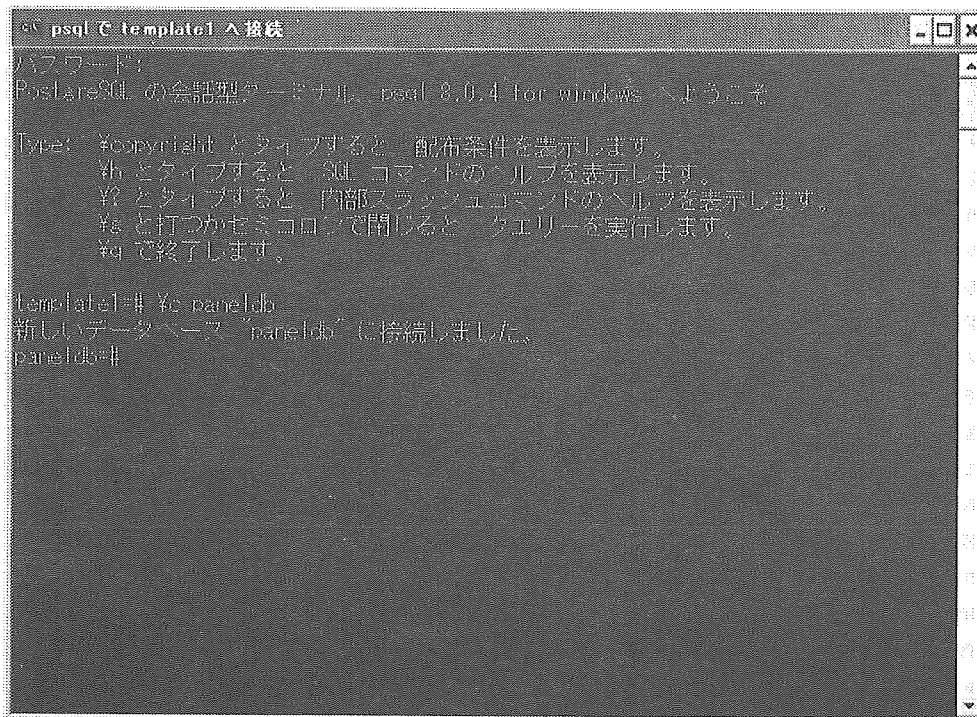
● 図 4-1-2 「psql」画面

「¥？」でヘルプ画面が表示されます。



● 図 4-1-2 「psql」画面 ヘルプ画面

データベース「paneldb」に接続します。「¥c paneldb」と入力します。



● 図 4-1-3 「psql」画面 データベース接続